

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年8月14日

【四半期会計期間】 第46期第1四半期(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

【会社名】 株式会社星医療酸器

【英訳名】 HOSHI IRYO-SANKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 星 幸男

【本店の所在の場所】 東京都足立区入谷七丁目11番18号

【電話番号】 (03)3899-2101(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 青木 経一郎

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区入谷七丁目11番18号

【電話番号】 (03)3899-2101(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 青木 経一郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社星医療酸器 神奈川事業所
(神奈川県綾瀬市早川字上原2647番地27)

株式会社星医療酸器 千葉支店
(千葉県千葉市稲毛区山王町305番地10)

株式会社星医療酸器 埼玉営業所
(埼玉県桶川市赤堀二丁目13番地)

株式会社星医療酸器 名古屋支店
(愛知県小牧市大字舟津1298番地)

株式会社星医療酸器 大阪営業所
(大阪府交野市私部西五丁目32番25号)

株式会社星医療酸器 尼崎営業所
(兵庫県尼崎市東難波町二丁目1番5号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第1四半期 連結累計期間	第46期 第1四半期 連結累計期間	第45期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年6月30日	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	2,571,235	2,539,198	10,826,673
経常利益 (千円)	266,753	310,530	1,319,840
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	178,133	215,483	870,571
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	170,630	314,163	852,683
純資産額 (千円)	12,060,957	12,701,016	12,643,737
総資産額 (千円)	15,817,543	16,651,425	16,814,236
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	53.93	65.64	263.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	75.0	75.1	74.0

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社につきましても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移したものの、米中通商問題や英国のEU離脱の動向が世界経済に及ぼす影響に加え、今年10月に予定されている消費税率の引き上げが個人消費に与える影響が懸念されるなど、先行きには不透明感が高まっております。

このような環境のもと当社グループは、蓄積した各種ノウハウをいち早く、医療・介護・福祉等の現場で、多様化する顧客ニーズの状況に即した対応と営業力の強化を継続してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計年度の業績は、連結売上高は2,539百万円（前年同四半期比1.2%減）、連結営業利益は305百万円（前年同四半期比16.7%増）、連結経常利益は310百万円（前年同四半期比16.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は215百万円（前年同四半期比21.0%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

医療用ガス関連事業

当部門は、日帰り手術の増加等医療技術の進歩や医療機関数の減少、DPC（包括医療制度）導入病院の増加などを背景として、医療用酸素ガスの消費量が年々減少傾向にある厳しい事業環境が続きました。このような環境のもと、24時間緊急対応が可能な医療用ガスの供給体制を維持し、「保安と安定供給」を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新しいビジネスモデルの開拓などに取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は826百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益は77百万円（前年同四半期比3.3%増）となりました。

在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズに対応すると共に、学会や病院内でのPR活動を通じ、きめの細かい営業活動を継続いたしました。自社開発の高機能リモコン「パレッツ」を搭載した酸素濃縮器「WESTERA（ウエステラ）」と「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）は、確実に市場への浸透と新規顧客の獲得に貢献いたしました。

当部門は、学会への出展や病院内でのPR活動などきめの細かい営業活動を展開し、自社開発の高機能リモコン「パレッツ」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウステラ）」は、着実に市場への浸透と新規顧客の獲得を進めることができました。また、市場規模の拡大傾向が顕著な「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）も利用者数の増加と伴に好調に推移いたしました。

また、次世代ヘルスケアとして、情報通信機器を用いたさまざまな医療サービスが期待され中、医療従事者と患者様の新しい懸け橋として、また、医師不足や遠隔地等、急速に高まる医療需要への対応として「オンライン診療システム」の提供を推進してまいりました。

これらの結果、売上高は1,129百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益は161百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。

医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、施工コストの低減と顧客ニーズに対応した丁寧な施工に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は138百万円（前年同四半期比37.9%減）、セグメント利益は23百万円（前年同四半期比285.3%増）となりました。

介護福祉関連事業

当部門は、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動と顧客のニーズに適応した商品のラインナップを強化したことを受け、介護福祉関連商品のレンタル及び販売は堅調に推移いたしました。訪問看護・居宅支援事業所「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）は地域における認知度のアップと顧客ニーズの把握及び運営体制の強化を継続いたしました。

これらの結果、売上高は169百万円（前年同四半期比6.4%増）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比54.4%減）となりました。

施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホームと通所介護施設の運営管理をおこなっております。有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）は、24時間看護師在駐、地元医療機関との連携、イベントの開催や地元住民の方々との交流を通じて付加価値サービスの提供と、人材育成の体制をさらに強化いたしました。また、入居者の多様性を把握したうえで、入居者様、ご家族様への「安心」「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。

通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）「あしつよ 巣鴨」（東京都豊島区）「あしつよ 王子」（東京都北区）は、今後の高齢者人口の増大を視野に、地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に応じ、稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は85百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント損失は0百万円（前年同四半期セグメント損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は16,651百万円（前連結会計年度末比162百万円減）となりました。これは主に、有形固定資産のその他のうち建設仮勘定が124百万円、投資有価証券が147百万円増加し、受取手形及び売掛金が434百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,950百万円（前連結会計年度末比220百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が212百万円、未払法人税等が111百万円減少し、賞与引当金が59百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は12,701百万円（前連結会計年度末比57百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が116百万円、その他有価証券評価差額金が98百万円増加し、自己株式が157百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間において研究開発費の支出はございません。

なお、当第1四半期連結累計期間において当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結累計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,500,000
計	8,500,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年8月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,420,000	3,420,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	3,420,000	3,420,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月1日～ 2019年6月30日		3,420,000		436,180		513,708

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 117,200		株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,297,600	32,976	同上
単元未満株式	普通株式 5,200		同上
発行済株式総数	3,420,000		
総株主の議決権		32,976	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式20株が含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしておりません。

【自己株式等】

2019年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社星医療酸器	東京都足立区入谷 七丁目11番18号	117,200		117,200	3.4
計		117,200		117,200	3.4

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,436,383	8,437,643
受取手形及び売掛金	2,233,299	1,798,793
たな卸資産	96,247	136,863
その他	78,988	93,582
貸倒引当金	4,762	3,217
流動資産合計	10,840,156	10,463,665
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	672,491	663,015
土地	2,370,654	2,370,654
その他(純額)	1,225,188	1,351,400
有形固定資産合計	4,268,334	4,385,069
無形固定資産		
投資その他の資産	16,915	16,351
投資有価証券	886,100	1,033,311
その他	809,516	760,552
貸倒引当金	6,786	7,525
投資その他の資産合計	1,688,829	1,786,337
固定資産合計	5,974,080	6,187,759
資産合計	16,814,236	16,651,425
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,907,444	1,695,313
未払法人税等	221,763	109,825
賞与引当金	111,400	171,000
その他	981,205	1,020,583
流動負債合計	3,221,813	2,996,722
固定負債		
役員退職慰労引当金	461,610	469,290
その他	487,076	484,395
固定負債合計	948,686	953,685
負債合計	4,170,499	3,950,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	11,494,215	11,610,615
自己株式	201,450	359,250
株主資本合計	12,242,653	12,201,253
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,268	280,112
退職給付に係る調整累計額	24,749	23,055
その他の包括利益累計額合計	206,017	303,167
非支配株主持分	195,066	196,595
純資産合計	12,643,737	12,701,016
負債純資産合計	16,814,236	16,651,425

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	2,571,235	2,539,198
売上原価	1,264,222	1,170,117
売上総利益	1,307,012	1,369,080
販売費及び一般管理費	1,045,358	1,063,717
営業利益	261,654	305,363
営業外収益		
受取利息	716	700
受取配当金	3,904	4,470
仕入割引	1,508	820
その他	828	1,162
営業外収益合計	6,957	7,153
営業外費用		
支払利息	1,858	1,986
営業外費用合計	1,858	1,986
経常利益	266,753	310,530
特別利益		
資産除去債務戻入益		18,704
特別利益合計		18,704
特別損失		
固定資産売却損		421
固定資産除却損	99	0
ゴルフ会員権評価損		9,550
特別損失合計	99	9,971
税金等調整前四半期純利益	266,654	319,262
法人税等	87,246	102,288
四半期純利益	179,408	216,974
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,274	1,490
親会社株主に帰属する四半期純利益	178,133	215,483

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
四半期純利益	179,408	216,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,632	98,980
退職給付に係る調整額	1,145	1,792
その他の包括利益合計	8,777	97,188
四半期包括利益	170,630	314,163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	169,823	312,633
非支配株主に係る四半期包括利益	806	1,529

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
減価償却費	156,721千円	162,722千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月11日 取締役会	普通株式	66,056	20.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月13日 取締役会	普通株式	99,083	30.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額には、記念配当10円が含まれております。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	822,538	1,083,282	223,518	159,697	80,933	2,369,970	201,265	2,571,235
セグメント間の 内部売上高又は 振替高			19,440			19,440		19,440
計	822,538	1,083,282	242,958	159,697	80,933	2,389,410	201,265	2,590,676
セグメント利益 又は損失()	74,860	133,004	6,205	28,608	9,734	232,944	28,710	261,654

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	232,944
「その他」の区分の利益	28,710
セグメント間取引の消去	
四半期連結損益計算書の営業利益	261,654

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	826,861	1,129,098	138,757	169,849	85,626	2,350,193	189,004	2,539,198
セグメント間の 内部売上高又は 振替高			20,133			20,133		20,133
計	826,861	1,129,098	158,891	169,849	85,626	2,370,326	189,004	2,559,331
セグメント利益 又は損失()	77,360	161,509	23,905	13,042	115	275,702	29,660	305,363

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	275,702
「その他」の区分の利益	29,660
セグメント間取引の消去	
四半期連結損益計算書の営業利益	305,363

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	53円93銭	65円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	178,133	215,483
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	178,133	215,483
普通株式の期中平均株式数(株)	3,302,823	3,283,000

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

2019年5月13日開催の取締役会において、2019年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	99百万円
1株当たりの金額	30円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年6月28日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月9日

株式会社星医療酸器
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	竹原	玄	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高田	政憲	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社星医療酸器の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社星医療酸器及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。